

日頃から防災対策を強化
コミュニケーションを大切に
笑顔が見える支え合い
お互いに見守り支える仕組み
健康を守り応援するまち
健診・検診を推進

まさよ通信



一緒に考え、一つ先へ、一步を踏み出す郡上に。

12月定例会が終了しました。令和6年に右手首を骨折し、ギプスを着けたまま一般質問に臨んだことを思い返すと、この一年の早さを実感いたします。

昨年6月定例会より、広報広聴特別委員会において、定例会を事前にお知らせする動画配信の取り組みが始まりました。12月定例会では、みずの議員と私が担当し、市民の方から「楽しく、元気が出る」との温かいお言葉をいただき、大変励みとなりました。心より感謝申し上げます。

本年も皆さまにとって、健やかで実り多く、活躍の年となりますことをお祈り申し上げます。

令和7年 第4回 定例会報告

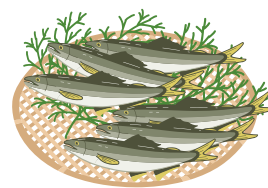
令和7年12月4日から12月19日まで

専決(財産の無償貸付)/人事案件/条例関係(新規制定・一部改正など)/令和7年度補正予算/など34件

郡上市美並・川の駅の施設及び管理に関する条例を廃止する条例

施設老朽化等の課題により指定管理の取止め

▶ 普通財産とするため条例を廃止し、利活用・廃止を含めた検討を行う



財産の無償貸付 <旧郡上市白鳥前谷自然活用総合管理施設>

無償貸付先：(株)IAOプランニング&デザイン 無償貸付期間：令和7年12月～令和17年3月31日

郡上市保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

明宝保育園を明宝中学校へ移転・複合化

▶ 公立保育園の乳幼児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)実地に係る保育料の規定・位置の変更

郡上市立学校設置条例の一部を改正する条例

美並地域の小学校2校を統合 ▶ 「美並小学校」を新設



物価高対応子育て応援手当支給事業 国補助金 / 100%

物価高騰の影響が長期化 ▶ 子育て世帯の支援

こども1人当たり：2万円

(対象児童は、令和8年3月31日までに生まれる新生児を含む)

郡上市共通商品券配付事業 国補助金 / 100%

物価高騰による市民生活や企業経営への影響

▶ 国の重点支援交付金を活用し、市内全世帯に共通券を配付

1世帯当たり：2万円



請願 賛成少数で不採択

国に対し地域医療を守り医療機関の維持存続への支援を求める意見書提出の請願書

田代 まさよ

携帯 090-5036-3971

住所 郡上市白鳥町中西488-1

E-mail masayo.t4881@gmail.com

過去の通信が
閲覧可能



公式Webサイト

友だち登録で
毎号通信が届く



LINE友だち

12月定例会 私の質問と市の答弁

企業におけるワークライフバランスの取組みについて

質問 企業におけるワークライフバランス【ワークライフバランスとは仕事と仕事以外の生活(家庭・育児・介護・自己啓発・地域活動など)が調和しどちらも充実している状態を指す。単に仕事を減らすだけでなく性別や年齢にかかわらず個人の状況に応じて多様で柔軟な働き方を選ぶことで仕事もプライベートも豊にする考えや取組の事】の位置づけは。

答弁 粥川商工観光部長
現在、日本全体の動向として働き方改革関連法等の整備により、長時間労働の制御、働き方改革関連法等の周知、有給休暇取得の促進、育児・介護休業制度の利用促進などが進められている。ワークライフバランスは、人口減少・高齢化が進む地域において、安定した雇用環境を創出し子育て世帯・若年層の市内定着を促す社会的に重要で大切な要素であると位置づける。学生等の求職者にとっては、ホワイト企業でなければ就職先としての選択肢としないという考え方を持つ学生が多いと大学の担当者から聞くことが多い。

質問 地元の企業がワークライフバランスを取り入れてもらえる取組はされているのか。

答弁 粥川商工観光部長
市としては、県などのワークライフバランス制度の認定推進により、企業の働きやすさが評価され、可視化される仕組みを通じて地域内に置ける雇用の好循環を生み出すことを目指す。取組みとして、県が認定する「エクセレント企業」への認定取得の推進をしている。「労務管理」「女性活躍推進」職場環境整備や地域貢献などの評価により認定され、従業員の定着率の向上、早期離職抑制につながると考える。求職者に対してホワイト企業であることをPRでき、各種ローンにおける金利優遇措置が受けられる。今後はさらに周知等を強化し、個別相談や指導など認定取得に向けた支援を行う予定。他には、郡上市産業支援センターによるセミナーを行っている。就職先に選ばれる企業となるため、ワークライフバランスの充実、エクセレント企業の認定に向けた取組みは若者のUターン意思決定を左右する重要な要素、今後も重要な施策として取組んでいきたいと考える。

大雪による市の対応について

質問 大雪に供えて屋根の雪下ろしが高齢化や人手不足ではかどらない。現状の把握と支援体制は。



答弁 田口健康福祉部長
雪下ろし中の事故や怪我は令和7年に5件あり、4件は屋根の雪下ろし中に転落した事故、1件は雪下ろし後に梯子を下りようとして転落。令和5年は1件、令和6年はなかったのも、令和7年は緊急出動が多くあったと把握している。支援体制は市内建設業者などに聞き取りを行い、作成したリストを利用し、問い合わせに対応した。

質問 住民の命と生活を守るために講じている支援や対策は

答弁 田口健康福祉部長
屋根の雪下ろしなどは、「屋根の雪下ろしや雪除けの依頼ができる事業者リスト」を利用して対応している。「雪下ろしが出来ない一人住まいの高齢者や高齢世帯を地図に示し、地域のなかで共有し合う」ことは、共助の取組みとして大切と思う。できる限り情報を共有しマップを活用して頂ける様に働きかけたい。

まさよの思い 今回いただいた答弁は、令和6年3月定例会における6番議員への答弁内容と大きな違いが見受けられず、課題の難しさは理解するものの、現時点での進展が十分に感じられるものではありませんでした。このままでは、市民の皆さまの不安解消にはつながらないのではないかと考えます。